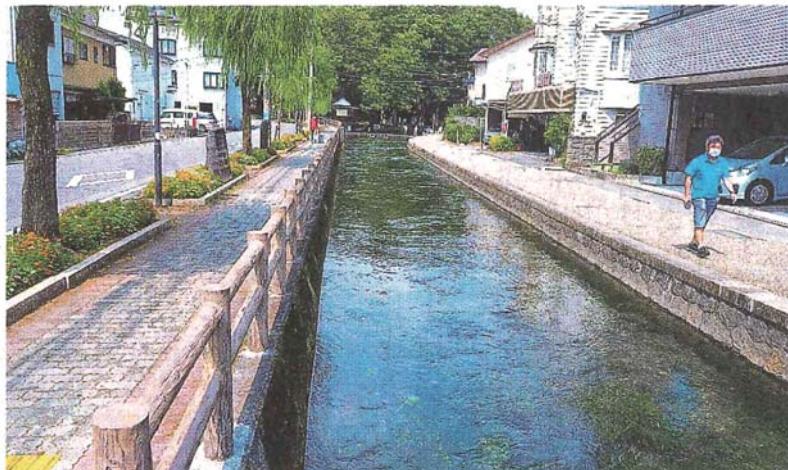


令和3年（2021年）8月30日（月曜日）

三島市は29日までに、5月に実施した市民意識調査の結果をまとめ、発表した。9割が「市への愛着」「住みやすさ」を感じ、医療や福祉、自然、道路環境などを重視していることが分かった。

郵送とインターネットで調査し、回答は166件、回答率は58

市への愛着率は「感じる」と答えた割合が86・8%で、2003年度の調査以来、最も高かつた。「住みやすさ」も90・7%で高い数値を維持している。



市民の愛着が増し「せせらぎ」も人気の三島市＝同市一番町

市民意識調查

「三島に愛着」過去最高

となり、次いで「自然や環境に優しいやすらぎのあるまち」「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」だった。市の取り組みの満足率は「せせらぎと緑や花を生かしたまちづくり」が「せせらぎと緑や花を生かしたまちづくり」として、詳しい結果は同市のホームページで公表している。